

矢野蓬矢 （あやのぼんじ） 俳人。明治二十九年九月十二日大阪生れ（一八九六一）。

本名兼三。關西大學の學び、大正九年高等試験行政科合格。翌年内務省入省、各地府縣の部課長を歴任後、昭和十二年在富山縣知事、十七年陸軍司政官、スマトラの西海岸州司政長官を務めた。ホトトギス同人とあり、高濱虚子に師事。

句集『赤道標』（昭和二十年七月十五日富山・寺田仙之助刊、富山印刷興業社）の他、隨筆『村を廻る』（昭和十四年十一月十五日高志書房）、『漬物石—人間史と名る赤風流』（昭和十六年四月二十八日第一八六論社）、『銃口は立ち』（昭和二十六年十月一日新政会出版部）、『獄中記—秋められたる終戦残酷物語』（昭和二十七年十一月十日潮文社「潮又社新書」）等の著書がある。

